

平成25(2013)年7月20日

第 53 号

発行人 世田谷稲門会 一貫一夫子次行男子
 編集 俊邦信利秀昭俊
 兼 岩上田並島子原内林巢
 兼 島榎寺兼江大若鷲

事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東
 3-1100-12 M2209
 TEL/FAX 044-433-9202
 林 馨 (はやし かおる)



世田谷稲門会会報

納涼会は芸術と温泉の箱根路へ 特急ロマンスカーで行く箱根路の旅

納涼会実行委員会

平成25年9月4日(水)

暑い東京を離れ、涼風を求めて一路箱根路へ。そしてゆったりと温泉に浸って会食後、ポーラ美術館にフランス画壇の印象派を代表する「光の画家」クロード・モネ展を訪ねる納涼の旅。平成25年度の世田谷稲門会納涼会は、こんなテーマで開催されることが決定した。

「特急ロマンスカーや現地バスの貸切り手配等の都合上、どうしても参加者数に制限(定員80名限定)が加わり、残念ながら世田谷稲門会の総会員数500名強の中から先着順受付となってしまう。ついては、ご参加頂ける方は、是非ともお早めにお手続きを完了願いたい、早いが一番」と呼び掛けている。

今年の納涼会を主催する当番ブロック会は、小田急沿線でも梅ヶ丘く千歳船橋間に位置する「けやき会」世話人の面々。けやき会が中心となり構成する実行委員会の話では、幾つもの納涼会企画案の中から『特急ロマンスカーで行く箱根路の旅』案が選択されたのは、箱根の、芸術の秋にふさわしいイメージがその大きな理由だったとか。

いずれにしろ、主催者であるけやき会を中心に、他ブロック会からの全面協力の下で実施される今年の納涼会は、昨年創立20周年を経た世田谷稲門会にとって、まさに新たな1ページを開く夏の思い出イベントであり、会員の皆様多数のご参加が期待されるところである。

ところで、同実行委員会は、現在、これからの参加者募集に向けて作業を開始しており、今後の募集方法について、

なお、この旅行の概要は、以下の通りであるが、ご参加申込み方法等の詳細については、本誌に同封の納涼会募集案内をご参照下さい。

- ◇開催期日 平成 25 年 9 月 4 日 (水)・雨天決行
- ◇集合場所 午前 9 時 00 分：小田急線新宿駅西口地上 1 階「小田急トラベル」前
- ◇出 発 午前 9 時 27 分：貸切りロマンスカーで箱根湯本へ
- ◇温泉会食 午前 11 時 30 分：ホテルおかだ着、入浴と会食 (2 時間 30 分)
- ◇モネ展 午後 2 時 30 分：ポーラ美術館着、モネ展その他鑑賞 (2 時間)
- ◇帰 路 午後 6 時 08 分：お土産店等を経由で小田急線小田原駅から新宿へ。
貸切りロマンスカー内では、談笑、そして小宴会も…。
- ◇解 散 午後 7 時 18 分：小田急線新宿駅解散



ホテルおかだ 外観



モネ「睡蓮の池」



エントランス

第二十二回定時総会開催 6月9日(日)

第十二代総長西原春夫氏が記念講演

『二十一世紀人類社会を導くべき和の精神』



熱く語る西原春雄元総長

成 24年度事業活動報告・決算報告・監査報告を、第2号議案として、平成25年度事業活動計画案・予算案を、そして最終第3号議案として役員選任の件を議場に諮ったところ、すべて異議なく原案通り承認可決された。

また、総会議事終了後、新任役員に就任された河野美和子幹事、井上文幹事、中村京幹事、および故武居前事務局長の後任に選任された林馨幹事が紹介され、夫々に拍手が送られた。

次いで、母校からの来賓、大学理事宮内孝知様、大学地域コーディネーター中川勝之様、

去る6月9日(日)新宿駅西口ハイアットトリージェンシー東京の平安の間において、世田谷稲門会第22回定時総会が開催された。
第1部の総会は、会員87名、ご来賓6名が出席、定刻の午後4時に井澤幹事長の司会の下に進められた。議事に先立ち、昨年総会以降に亡くなられた、武居達治前事務局長はじめ6名の方々のご冥福を祈って黙とうを捧げた。
次いで岩上会長が議事席に着き、第1号議案として、平



岩上会長による冒頭挨拶

和の精神で

決を固らなければならぬ。これからの世界で、人類を牽引すべきは『吾唯知足』という和の精神で

杉並稲門会名誉会長山田実様、同会長の久保田貞雄様、狛江稲門会副会長山根貞夫様の紹介の後、来賓を代表して宮内孝知様からご祝辞を頂いた。

第2部の講演会では、第十二代早稲田大学総長西原春夫氏に「21世紀人類社会を導くべき和の精神」と題して大変含蓄の深いご講話を頂戴した。

その要旨は、

「科学技術の発達によって世界中がネットワーク化し、いろいろなものごとが国境を越えるようになった。地域的な戦争は止められないが、全面戦争は出来なくなっている。紛争を解決する理念が必要である。勝敗は避けられないが、共通分母を作ることによって勝敗の克服、どちらにもWin Winになるような解決を固らなければならぬ。これからの世界で、人類を牽引すべきは『吾唯知足』という和の精神で



定時総会会場

はななかりうか。その戦いへの平和的解決の先頭に立つのは、世界に誇る『憲法9条』をもつ日本である。」とのことで、世界の情勢について認識を新たにさせられるご講演であった。

新役員紹介

この度の総会で次の3名が新役員として承認されました。

最後は母校応援団長小御門俊郎氏先導による恒例の校歌斉唱で、盛会裡に閉会した。(若林 昭男/記)



青春に返っての校歌斉唱

河野 美和子氏 (昭35教育)



井上 文氏 (昭45理工)



中村 京氏 (昭58法)



(詳細は第1面の記事を参照)

世田谷稲門会・平成24年度決算報告書 及び25年度予算

(単位:円)

項目	24年度予算	24年度実績	25年度予算案
前期繰越金	① 566,618	566,618	406,903
収入			
年会費(準会員含み)	② 1,357,000	1,451,000	1,427,000
総会 会費	ア 900,000	839,000	900,000
20周年記念祝賀会 会費	イ 2,000,000	1,953,000	
新年会 会費	ウ 1,170,000	842,000	1,000,000
納涼会 会費	エ		800,000
諸行事 小計(ア~エ)	③ 4,070,000	3,634,000	2,700,000
組織強化補助金	オ 516,000	516,000	505,000
20周年記念誌広告収入	カ 0	260,000	
利息収入	キ 100	118	120
雑収入	ク 0	16,283	0
その他収入小計(オ~ク)	④ 516,100	792,401	505,120
収入合計②③④	5,943,100	5,877,401	4,632,120
支出			
総会 費用	1 900,000	793,107	900,000
20周年記念祝賀会	2 2,000,000	1,843,380	
新年会 費用	3 1,170,000	807,134	1,000,000
新年会景品代	4	118,916	100,000
納涼会 費用	5		800,000
総会等講師謝礼又は出演料	6 160,000	160,000	
諸行事 小計(1~6)	I 4,230,000	3,722,537	2,800,000
早大サホーターズクラブ寄付金	7 30,000	30,000	50,000
会員増強費又はブロック会支援金	8 100,000	70,000	70,000
校友会23区活動費	9 100,000	125,750	130,000
広報活動費	10 600,000	587,915	600,000
事務運営費	11 40,000	22,910	40,000
会議費	12 250,000	301,696	300,000
事務用品費	13 100,000	103,881	100,000
通信費	14 200,000	276,266	250,000
雑費	15 150,000	111,851	120,000
20周年記念行事費	16 500,000	684,310	
積立金繰入額	17		100,000
諸経費 小計(7~17)	II 2,070,000	2,314,579	1,760,000
支出合計 I+II	6,300,000	6,037,116	4,560,000
次期繰越金	209,718	406,903	479,023
積立金			100,000

24年度実績の次期繰越金(406,903円)内訳
現金59,062 銀行預金271,325 ゆうちょ預金76,516

平成25年度役員新体制

H25.6.9

役職	氏名	卒年・学部	担当など
会長(常任幹事)	岩上 健一	昭36・法	
副会長(常任幹事)	井澤 貞夫	昭35・理工	幹事長
事務局長(常任幹事)	林 馨	昭45・理工	
副会長(常任幹事)	鈴木 宏治	昭38・商	部会統括
副会長(常任幹事)	露木 茂	昭38・政経	イベント企画統括、準会員LC統括
副会長(常任幹事)	横田 吉明	昭38・商	ブロック統括、23区支部統括
副会長(常任幹事)	島田 實	昭40・法	副幹事長、広報HP統括
幹事	河野 美和子(新任)	昭35・教育	準会員LC担当
幹事	熊谷 慶紀	昭38・政経	ブロック担当
幹事	国澤 俊一	昭43・理工	部会担当、23区支部担当
幹事	桃井 清治	昭44・政経	事務局・会計担当
幹事	井上 文(新任)	昭45・理工	ブロック担当
幹事	榎並 俊一	昭46・理工	広報HP担当
幹事	薄井 好雄	昭47・商	事務局担当
幹事	戸田 昇	昭47・政経	事務局担当
幹事	篠崎 章子	昭52・政経	事務局担当
幹事	中村 京(新任)	昭58・法	事務局担当
幹事	中島 史郎	昭59・法	青年部担当
監事	寺島 邦夫	昭38・政経	青年部統括、広報HP担当、イベント企画担当
監事	山田 昭	昭50・政経	
顧問	土倉 享一	昭34・政経	
顧問	柏 良子	昭31・政経	
顧問	麻生 卓司	昭34・政経	

(注記)準会員LCは「準会員・レディーズクラブ」の略

ブロック会に広報担当を設置

平成25年5月より、7つあるブロック会に広報担当世話を配置し、会報及びホームページの充実に力を入れてまいります。

ブロック会・広報担当世話人

ブロック会	広報担当	卒年学部
西北会	桃井 清治	昭44 政経
千歳会	戸田 昇	昭47 政経
けやき会	工藤 隆司 井上 文	昭44 政経 昭45 理工
キャロット会	富塚 兆弥 榎並 俊一	昭41 政経 昭46 理工
きぬた会	畔上 孝夫	昭44 商
玉川会	大田 隆	昭45 商
さくら会	岩城 好宏	昭34 理工

部会だより

ゴルフ

A) 平成25年最初の「第74回ゴルフコンペ」は47名の参加を得て3月29日(金)中津川CCで開催。

当日は曇り空、微風で暖かく、桜も満開間近で絶好のゴルフ日和。

結果、優勝は総合・井澤美知恵、グランドシニア・土倉享一、シニア・森昌治、レディース・森春野となりました。

B) 「第8回三田会との懇親ゴルフコンペ」は5月16日(木)稲門会主催で桜ヶ丘CCにて開催。多少の風はありましたが、曇りで暑くなく絶好のゴルフ日和。参加者は稲門会18名、三田会10名の合計28名。競技方法は従来通り新ペリア方式で結果、優勝は井口昭(稲門)、2位は桃井清治(稲門)、3位は秋田滋(稲門)と稲門会が独占しました。各会上位5名で競う団体戦も稲門会の6連勝と圧勝。次回懇親コンペは、来春三田会主催で開催します。

C) 「第75回ゴルフコンペ」は参加者34名で6月3日に都留CCにて開催。当日は早朝やや雲がかかっていたが、梅雨の晴れ間で昼前後から快晴となりました。コースはタフな準山岳コースで苦戦を強いられましたが、優勝は総合・村松久子と2回連続で女性が獲得。グランドシニア・江原利次、シニア・西野哲夫、レディース・竹入啓子となりました。

なお、今後の予定は10月4日(金)「第76回ゴルフコンペ」(富士国際GC) 12月3日(火)「第77回ゴルフコンペ」(桜ヶ丘CC)です。(桃井 清治/記)



スポーツ観戦

平成25年6月1日(土)春季早慶1回戦を観戦。

今シーズンは既に明大の優勝が決まり、早慶両校は力を十分に発揮できず、Bクラス同士の一戦となった。しかし、学生スポーツの代表である伝統の早慶戦とあって観客数26,000人を超えた。当会からも会員、会員知人を合わせ22名が参加した。

試合は早大が初回から圧倒、主砲小野田のスリーラン・ホームランに始まり、3・4回に加点、5回には中村のホームランも出、更に7回にダメ押しの点を加え8点を取った。一方慶大は有原を打ちあぐね、5回・8回に反撃4点を返したが、有原・内田の好リレーに屈した。久々の快勝に「紺碧の空」の大合唱が熱く神宮の森をゆるがした。また、母校女性応援リーダーの男性顔負けのきびきびしたパフォーマンスに感動の一言、応援を一層盛り上げることとなった。観戦後、6人の会員が球場近くのスペインバー・レストランに集まり、楽しく飲み語り合い懇親を深めた。

今回参加会員の皆さん、早朝から来られ熱心な応援ありがとうございました。秋には早慶の優勝争いを願い、更に多くの会員のご参加を期待します。

(川村 保夫/記)

俳句

新緑の爽やかな5月の句会は、桜新町駅前蕎麦屋の権八で昼食を楽しんでから、日下野由季先生を囲んで行いました。当日は前もって出題された兼題の『滝』と季節に相応しい俳句を持ち寄り、和気藹々のうちにも由季先生の指導で有意義な勉強になりました。それでは会員の皆さんの俳句を紹介いたします。

夕さりの風のまにまに牡丹散る	松尾 守(まもる)
若葉風ゆっくり進む車椅子	沼田 宣子(宣子)
同じ柄着たる人あり夏座敷	富塚 兆弥(兆弥)
焼蛤を土産に持ちて那智の滝	暮田 忠雄(上馬の)
そこここに万有引力百日紅	榎並 俊一(恵那)
新緑の障子に映える茶懐石	江原 利次(利水)

俳句に興味のある方、特にこれから始めてみたい方の参加を歓迎いたします。



4月の句会(桜新町区民集会所)

(江原 利次/記)

芸術芸能鑑賞

「落語・文楽・音楽など盛りだくさん」

相変わらず三越落語会は人気で3月22日には20名、5月29日は15名の参加となり、次回は7月6日の「納涼寄席」を予定している。5月22日に国立劇場で「人形浄瑠璃・文楽」の鑑賞会を行い、12名の参加で「曾根崎心中」などを鑑賞した。

会員の花田玲子さん出演の3月16日の日比谷公会堂には8名、5月16日の三越劇場でのポピュラー音楽祭にも会員が参加した。

今後は6月7日に「加藤登紀子コンサート」、7月12日には「池澤美佳（杉村美恵）ディナーコンサート」を予定している。

異常人気の歌舞伎は秋に予定している。なお、総会は9月に行う予定。



(鈴木 宏治 / 記)

食べ歩き

平成25年4月27日(土)、天気は快晴、府中のJRA東京競馬場フジビュースタンドにて、世田谷稲門会「有志の会」による昼食と競馬観戦の会が開催された。

東京競馬場8Fのダービールームに有志42名が集合し、ホテルオークラの美味しいお弁当を食べながら、競馬を観戦し馬券で盛り上がった。参加の某氏は3連単を見事的中し、配当金18万円の大金をゲットした。



これにあやかろうと参加の皆さんも積極的にチャレンジしたが、あえなく惨敗した。貴賓室での競馬観戦という貴重な体験をして、一日楽しく過ごしました。

6月26日(水)、第56回(平成25年度第4回)例会を開催。今回の食べ歩き会は、とろろ芋を主に山の幸、海の幸、里の幸を用いた食材を浅草・駒形橋近くの老舗「むぎとろ」にて、麦とろ御膳を味わう会です。

(榎並 俊一 / 記)

パソコン

4月9日定時総会が開催され平成25年度の基本方針につき討議し、世話人の全員留任(ただし1名欠員)と行事日程等が決議されました。

例会(勉強会)では前号に続きワードでの案内状作成、エクセルの基礎操作を中心に学習しています。

本年度の特別見学会を世田谷区砧1丁目所在のNHK技術研究所に定め、5月31日午後開催しました。参加者8名。「技研公開2013」の期間中で会場はかなり混み合いましたが、幹事役中井盛久氏のお世話により、専属社員の案内で2時間の時を過しました。



今年のテーマ“期待、見たい、感じたい”の最新研究成果の展示場見学とスーパーハイビジョンシアター(上演内容:ロンドン五輪ダイジェスト&リオのカーニバル)で3300万画素の高精細な映像と22.2マルチチャンネルの大迫力音響を堪能しました。見学会の後は恒例により成城学園駅近くで懇親会を行いました。

(岩城 好宏 / 記)

釣り

平成25年3月31日、間口港利一丸より乗り込み鯛釣り、貧漁トップ2枚、他鰻大型が出る。最高の美味。4月29日、同じく利一丸より鯛釣り。真鯛早々にあきらめ黒鯛釣り。成田氏60cm級頭に5枚、後半鰻国澤氏34匹。4月の真鯛乗り込みは近堂氏尺上8匹含め21匹。5回釣行したが後半貧漁、溪流釣りは柴田単独釣行狩野川源流へ5回釣行し、毎回35~38cm岩魚、紅鱒を釣る。ほとんど他の釣り師無く、ゆっくり釣りを楽しめる。

5月26日、東京中の瀬へ川崎つり幸よりキス釣り、4名参加。大潮のため垂止まらず、トップ16匹の貧漁。今後、夏へむかい内水面手長エビ、ハゼ釣り、沖釣りキス、イシモチ釣りと初心者向き釣りが続きます。是非参加してください。



(柴田 昇 / 記)

カラオケ

■月例会 (コートダジュール下北沢)

- ・第71回 2月2日(土) 正月気分抜けもう節分。16名(女性5名) 4室。
- ・第72回 3月2日(土) 節分雛祭り及早や桜便り。14名(女性5名) 4室。
- ・第73回 4月6日(土) 満開の桜は葉桜に。春嵐で7名(女性2名) 1室。
- ・第74回 5月4日(土) 目に青葉山時鳥〜GW。15名(女性3名) 4室。
- ・第75回 6月1日(土) ♪くちなしの花が〜♪。16名(女性5名) 4室。

■会員紹介 熊本昭二氏 (S30 商) 昭和7年生満80歳。(写真右上)

ちづる夫人とおしどり古参会員。月例会前に予行練習する熱心さ。

腰痛あっても歌うと背筋がしゃんとするとか。目下レパートリーを拡大。

持ち歌は①あこがれのハワイ航路(岡晴夫)②青春日記(藤山一郎)③男はつらいよ(渥美清)④東京の花売り娘(岡晴夫)⑤浅草の唄(関敬六)など。特に惚れ惚れとする美声で「あこがれのハワイ航路」を歌ったら追随する者無し。青春時代に引き込むのでファンも多い。

これからも100歳目指して聴かせてください。

(倉田 豊 / 記)



ウォーキング

薫風香る5月19日午後1時に21名の会員が赤坂見附に集合。最初に大岡越前守御廟と狛犬や狐の像の鎮座する豊川稲荷に立ち寄り、参拝と記念写真の撮影。

赤坂不動、浄土寺、江戸の名力士雷電の墓のある報土寺へと歩く。東京の最先端ビル街を通り抜けると、勝海舟屋敷跡、鬱蒼たる氷川神社でしばし休憩。

妙像寺、久国神社を通り、大石内蔵助の南部坂の別れの碑の前で往時を忍ぶ。帰りは緑のオアシスに囲まれた遊歩道を散策しながら、神谷町駅前にて解散。

(江原 利次 / 記)



豊川稲荷神社境内にて

麻雀

平成25年4月7日(日)春とはいえ冷たい風が吹きすさぶ正午、25名のメンバーが集い口と技と運を頼りに優勝を目指した。前半を飛ばした小河原氏の隙を巧みについた武田氏が後半を手堅く守り、余裕の優勝を遂げた。優勝武田一成、準優勝宮木甫、3位高橋義幸、4位桃井清治、5位吉村善智、6位河村卓郎

5月12日(日)五月晴れの昼28名の男女の雀士が集い頂点を目指した。毎回トップが変わるめまぐるしい試合となったが、最終回の得点が順位となり、優勝中村晃二、準優勝原田信夫、3位原明、4位下谷内堯、5位高橋義幸、6位宮木甫

(下谷内 堯 / 記)

写真

写真部会では世田谷稲門会のホームページに写真部会会員の作品を掲載する事にして、第一段として、20周年の会での写真展の展示作品を中心に、5月からホームページにのせております。会員の作品はそれぞれジャンルがありますが、自然風景、花、スナップ、動物、国内および海外旅行そして世田谷区内の行事や風景と多彩です。年4回のペースで内容を変えていきますので、お楽しみ下さい。

(1) 例会実績報告

例会：10時～13時30分 東京農大校友会館 教室 (通常は第3木曜日)

平成25年1月17日、2月21日、3月21日、4月18日、5月16日

(2) 今後の予定

例会：8月は従来から休会しています。

6月20日、7月18日、8月休み、9月19日。

(種谷 鴻成 / 記)

囲碁

平成 25 年 4 月 20 日と 21 日に恒例の「ふじみ荘」での一泊碁会を開催し、出席者は 13 名。いつもどおりの和やかで楽しい会となりました。また、6 月 1 日にはオール早稲田碁会が囲碁総本山の市ヶ谷日本棋院で開催され、久しぶりに 2 組 (1 組 5 名) の参加を果たし、一同必勝を期して臨みましたが、結果は惜しくもいま一步。祝勝会の予定が残念会となったものの囲碁話に花が咲きました。



次回は 7 月 20 日と 21 日の予定ですが、他地域との交流をはかるため、オール早稲田の対戦相手「目黒稲門会囲碁部」に声をかけたところ、快く申し出を受けて頂き合同で開催することになりました。

今後は、交流会を含めいろいろと趣向を凝らし、さらなる発展を目指す所存ですが、目下の最大の課題は若手会員の確保となっています。乞う若手 (70 歳以下は十分若手です) !

(池松 正之 / 記)

青年

盛會に終わった 3 月の新日鐵住金「代々木倶楽部」での例会に引き続き、青年部は 7 月 18 日 (木) 19 時より本年 2 回目の例会を行いました。

今回は、母校早稲田大学近くの金城庵本館 2 階座敷を借り、学生時代のコンパの雰囲気を出しながら酒を飲み交わそうという趣向にしました。

参加者の皆さんには、学生時代のコンパを再現した雰囲気・ノリで夏の夜のひとときを楽しんで頂けたのではないかと思います (なお、写真は金城庵本館での幹事の打ち合わせを撮影したものです)。



青年部は、現役で仕事をしている若い世代の会員相互の親睦・交流を主眼とする部会で、早稲田という共通点でつながる様々な異業種のメンバーが年 3、4 回程度集まり会食し、楽しく交流しています。実際には年齢は関係なく、現役で仕事をされている「青年の心を持つ方」であれば、ご参加頂いています。ご興味のある方はぜひご参加ください。次の例会は、11 月頃を予定しています。

(中島 史郎 / 記)

ブロック会だより

けやき

平成 25 年度けやき会の総会、懇親会及び新入会員歓迎会が春爛漫の 4 月 25 日 (木) に千歳船橋の閑静な住宅街の中にあるレストラン「オーランドブー」で行われました。17 名の方が参加されましたが、本会にとって大変残念なことは、世話人の一人である内田孝さんが直前に急逝されてしまったことです。開会の前に皆で黙祷を捧げました。

総会では平成 24 年度の活動の総括がされました。特に活動の一つの成果として新入会員が 9 名増員され、会員数は 81 名となりました。それぞれの世話人に趣味の会、「ゴルフ」、「麻雀」、「ウォーキングとスケッチ」、「スポーツ観戦」の報告と、平成 25 年度の活動計画をお話いただきました。また今年はいけやき会が世田谷稲門会本部の納涼会を担当することになり、参加者の皆さんに楽しんでいただこうと、大張り切りです。



その後、今回予定していた講話が、講師のお怪我で残念ながら中止になりましたので、早速懇親会に入り、イタリア料理に舌鼓を打ちつつ美酒を飲みながら、まずは最長老の草野昭次先輩 (昭 27 年政経卒) に乾杯の音頭を取っていただき、皆で唱和しました。新入会員の挨拶に続き、恒例の各人の近況報告をするのですが、中には近況ではなく昔話を始める方もおり聞いていて笑いあり、驚嘆ありの楽しいひと時でした。最後に住宅街のレストランであるにもかかわらず、周りに遠慮せず皆大声を張り上げて校歌斉唱、その後全員の写真撮影で閉会しました。今後は、7 月、10 月、1 月に懇親会を予定しています。

(磯田 進 / 記)

玉川

平成25年4月3日(水)に目黒川お花見ナイトクルーズを開催しました。会員数が増えたことでもあり、従来の定例的なものに加えて春と秋に行事を加えようということで、開催したものです。参加者は16名で、男性13名、女性3名、その内、女性会員のご主人が1名、会員の夫人が2名でした。りんかい線天王洲アイル駅に集合し、午後6時に薄暮の中、天王洲ヤマツピア栈橋を出港、目黒川を上流に向かってゆっくり巡り、目黒雅叙園のところで折り返す約1時間のコースです。



目黒川は東京の隠れた桜の名所とはいうものの、今年は桜の開花が異常に早かったので、“葉桜見物”を覚悟していました。おまけに前日から悪天候となったのでどうなることかと心配しましたが、当日は午後から幸運にも雨も上がり、開花後続いた寒い天候のおかげで桜の花もまだしっかりと残っていて、少々寒かったのですが、十分に楽しめました。

帰港後、近くのイタリアンレストラン「ディアーナ」で夕食会を開き、楽しいひと時を過ごしました。

(太田 隆 / 記)

西北

平成25年6月2日(日)に第29回西北会例会を開催。今回は新代表世話人・柏良子さんの趣向で二部構成となっており、第一部はPM2時より代々木上原にある「古賀政男音楽博物館」にて“湯浅明の歌めぐり、人めぐり：クレージーキャッツとその時代”と題したミュージアム講座を拝聴。明るいながらパーソスも含んだ無責任一代男やスーダラ節を聴きながら懐かしいあの時代を思い出させた。湯浅明氏の軽快なテンポで話がどんどん展開していく。ゲスト出演の中村メイコさんも植木等や美空ひばりとの知られざるエピソードをあの回転のよい口調で披露し、“いい味”を出していた。



二部は参宮橋の新日鐵代々木倶楽部に移り、PM5時よりクレージーキャッツを酒の肴に大宴会が繰り広げられた。今回は久しぶりに日曜日の開催とあって、日頃出席できない現役の会員や準会員の方々など初めての参加者も6名を数え、いつもにも増した賑やかな雰囲気であちこちで懇親交流の輪が広がった。アルコールも手伝って大いに盛り上がった一日でした。一部のみ参加者を含めて36名と過去最多の参加者でした。

(桃井 清治 / 記)

キャロット

平成25年4月5日(金)キャロット会、さくら会、西北会有志の総勢23名の参加による隅田川クルージングを開催しました。

今年は例年より、桜の開花が早く、葉桜見物となりましたが、当日は天気も良く、屋形船で天婦羅、ちらし膳、ビール等を戴きながら、駒形橋からお台場までの往復、鷗の飛び交う中、参加者和気藹々と1時間30分を楽しみました。2次会は希望者により「駒形どぜう」で一杯。



次回親睦会は8月2日(金)午後7時から赤坂「バルバラ」に於いて開催されるキャロット会の花田玲子さんの「ピアノ弾き語りライブ」に行く予定をしております。

恒例の忘年会は11月30日(土)の開催予定(場所未定)です。

(富塚 兆弥 / 記)

千歳

「平成25年度第一回の懇親会開催」4月13日(土)

第一部は13時に京王線「つつじヶ丘駅」に集合し、神代植物公園と天台宗の名刹「深大寺」を散策・鑑賞した。この日は素晴らしい好天に恵まれ、植物公園では、八重桜とハナミズキが満開の幸運を味わい、深大寺では鐘樓や本堂などを鑑賞したが、時間の関係で、中村草田男や高浜虚子などの句碑・歌碑を巡ることは出来なかった。



第二部は調布駅前の中華料理店「唐菜」で懇親会を行い23名の会員が参集した。本部から岩上会長、井澤幹事長、熊谷ブロック担当幹事の出席を得て、ご挨拶を頂いた。又、6月9日の総会出席要請や稲門祭の福引券購入依頼などを御願いし、秋の次回での再会を約してお開きとした。

会員数に比較して、出席者比率が高く、この傾向を維持したい。

(鈴木 宏治 / 記)

きぬた

平成24年度の締めくくりとして平成25年3月17日(日)に、根津美術館の見学とNHK青山荘での和会席料理による懇親会を行いました。

当日は会員および本部役員合わせて18名が参加し、千代田線表参道駅に集合の後、まず根津美術館に赴き、日本・東洋の古美術品コレクションを約1時間鑑賞いたしました。

その後NHK青山荘に場所を移して、和会席料理による懇親会に入りました。

飲み放題の宴席で、また昼中での酒でもあり、酒量が進むにつれ和気藹々と楽しい話に花が咲き、親睦を更に深めることが出来ました。

次回は平成25年度第一回目の行事として、7月21日(日)に新日鐵代々木クラブでの講演会と会席料理の懇親会を計画しております。

(國澤 俊一 / 記)

さくら

今年2回目のさくら会懇親会は、6月2日(日)11時30分～14時まで三軒茶屋の銀座アスターで25名の参加者により開催されました。

当日は本部から井澤貞夫、島田實、鈴木宏治、薄井好雄の各氏が出席され、本部関連の挨拶と稲門祭の景品への協力要請があり、成果を上げる事が出来ました。懇親会は今回参加された方の3分間スピーチと中華料理を囲んでの楽しい会話で大いに盛り上がり、最後は『都の西北』を斉唱して解散となりました。



次回は10月6日(日)に同じ銀座アスターにて開催を予定しています。

(江原 利次 / 記)

訃報

武居達治氏のご逝去を悼む



昨年の世田谷稲門会総会後、会員増強活動や創立20周年記念行事など、例年に増して重要案件が山積する中、私が担当していた事務局長職をお引き受け頂き、世田谷稲門会の新たな司令塔として活躍が期待された矢先に発病され、その後、復帰に向け懸命に闘病を続けておられました。しかしながら、そのご努力も空しく、去る5月29日にご逝去されました。そして、「武居は、こよなく早稲田を愛した人だった」と奥様が話された言葉が、今も私の耳に強く残っております。真の早稲田マンだったのです。

昭和39年早稲田大学法学部を卒業、三和銀行に入行して要職を歴任され、母校の創立125周年記念募金の際には、大学の総長室へ出向、多大の貢献をされたとお聞きしております。

通夜・葬儀は6月5日、6日の両日、代々幡斎場にて執り行われ、当世田谷稲門会の岩上会長はじめ幹部の方々、また、所属していたやき会の皆さんが多数参列され、ご冥福をお祈りしました。総長室に出向の折、一緒に活動された、現総長室の後藤由美子部長もご葬儀に参列されました。

これから、世田谷稲門会の主柱として、われわれをリードして頂けると期待されていただけに、誠に残念でなりません。心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌

(横田 吉明 / 記)

会員の広場

聖地

「ニューオールリンス」でパレード演奏

寺島 邦夫 (昭38政経)



ゴールデンウィークの4月29日「早大ニューオールリンスジャズクラブ稲門会」の後輩たちと世界各国の脳神経外科の医師たち10名で、パトカーとピエロが先導する中、ニューオールリンス市の中心地「バーボンストリート」を約1時間かけてパレード演奏してきました。

ジャズ発祥の地といわれているニューオールリンスでは結婚式や葬式のときに楽団を先頭にしてパレードする習慣があり、この時に演奏されたマーチや葬送曲が名曲としてたくさん残っています。今回も当時人気のあった行進曲をメ

ドレーで演奏しました。1970年に初めてニューオールリンス市を訪れてから今回で8回目の訪問になります。「プリザベーションホール」は行くたびに必ず立ち寄る場所です。往年の名プレイヤーは亡くなって若手のメンバーに代わっていますが、アメリカで唯一トラッドジャズが聴ける場所です。

05年にハリケーン「カトリーナ」に襲われたニューオールリンス市は、働き手の多くのアフリカ系アメリカ人が家を失ってその後しばらくは活気を失っていましたが、4年ぶりに訪れた街は大変な賑わいを取り戻しており、郊外の競馬場で開催されていたジャズ・フェスティバルや夜のバーボンストリート街も人で



あふれていました。

翌日の夜はミシシッピ河の蒸気船の船上で、心地よい揺れと夜景を楽しみながら演奏してきました。

今回の演奏旅行も、「神の手」脳神経外科医 福島孝徳博士(ニューオールリンスジャズクラブ稲門会の会員でドラマー)の企画で実現したものです。



20年ほど前、50歳を過ぎてから昔の仲間誘われて、楽器(バンジョー)を再開しました。今も毎月第一土曜日の夜に自由が丘『オカロランズ』で仲間と一杯飲みながら演奏を楽しんでいます。

みな様もお立ち寄りください、ともに、楽しんでいただけたらと思います。

おらが地域の

PGAゴルフ大会

工藤 隆司(昭44政経)



私は1993年から2008年まで15年アメリカ南東部ノースカロライナ州のグリーンズボロという人口約20万の小都会に住んでおりました。

この地域は繊維、綿花、たばこという古い産業が盛んだった地域で、男子プロゴルフでは、南東部では最も古くからのグレイター・グリーンズボロ・オープンが1938年以来(マスターズは2年遅れの1940年から)開催されています。ちなみに南東部という言い方をしますが、これは決して南部で暑いのではなく、南北戦争時に南軍に味方した歴史からそのような呼ばれまます。冬は東京よりも寒くなります。

いたこのゴルフ大会はメジャー大会とは対極にあるのでしよう。地域の経済的地盤沈下を反映し、スポンサーは数年毎に変わります。ゴルフ大会の運営主体の商工及び青年会議所は、地域のお祭りとしての大会を維持すべくPGA側との交渉も含め様々な調整を行います。先ず開催コースをどこにするかです。

当初は町の中心部に近い伝統、格式のあるコースで行われていましたが、距離が短く、郊外のコースに移りました(私はたまたまその郊外のコースに加入)。そのコースも道具の改良に伴う飛距離アップには対応出来ず、1年半閉鎖し大幅改造を余儀なくされました。そのコースで再開された2003年の大会では丸山茂樹が優勝しましたので、この大会名を覚えていた方もおられるかと思えます。

役者のお化粧ではありませんが、ゴルフ場も夏場ですと2週間もあると驚くほど早く変わります。特にラフの伸び方には驚かされます。

私もコースメンバーの一人として1997年の大会で場内係を務めたことがあります。左曲りの短いミドルホールOBライン際を見る係でした。

大会3日目、予選をトップで通過した最終組の若手選手がティーショットを左に引っかけOBを出しました。打ち直し後、OBの合図を出した私を見詰めながら通るその選手の表情は今でも忘れられません。その同じ年の決勝ラウンドでは尾崎直道と佐々木久行が同じ組でまわる珍しい光景を見ることが出来ました。

来年からPGAツアーの日程が大幅に変わります。まだ発表はされていませんが、この大会が存続することを切に願っております。

早くゴルフをしたい

矢野 貞行 (昭42商)



私がこの世に存在することが、全く幸運の連続で、普通であればとくに死んでいてもおかしくない、いや死んでいない方が自然だったかもしれない。

5歳のころの夏、毎日蝉取りに夢中になりすぎて日本脳炎になり、身体が弱っていた

ためか父の肺結核の菌が右足の甲に入り、その菌が下半身の関節に移り最後には脳に入り、俗にいう脳膜炎（結核性脳脊髄膜炎）になり、ここで当然死んでいたはずだった。しかし、父親の会社が結構繁盛しており、ちょうどそのころ朝鮮戦争（昭和25年）が勃発し、米軍の将校に頼んで結核の特効薬のストレプトマイシンを羽田空港で入手することができた。当時のお金で1万円と高額だったが月に1回くらい非合法で入手した。母親は院内の同病患者からお金を買ってしていると多々非難されたようで、非常につらかったとよく言っていた。でも葉は病院に預けてあったので医師は適当に別の患者にも回していたようだ。

こうして命を取り留めたものの関節炎の方は依然ひどく、コルセットを両足にして2年遅れで小学校に入った。しかし2年生の3学期に関節炎が再発し（これが致命的で右股関節の骨頭をなくした）、5年生の2学期まで学校には行けずじまいだった。しかし、落第もせずに小学校を卒業できた。私も含めて5人兄弟全員が同じ小学校で、先生方もよく知っていたため黙認して

くれたようだ。こうして日本脳炎と脳膜炎というマイナスが二乗でプラスになり、早大学院に入ることができた。多くの学友たちは足の不自由な私を普通の健康者と同じように接してくれた。社会人になると思いもかけなかったゴルフにまで誘ってくれた。お前が歩けなくなったらおんぶしてやるからといわれ、ゴルフにはまつてしまった。

7年前の脊椎カリエス、今回の頸椎狭窄手術を乗り越え、またゴルフがしたくてリハビリに精を出す毎日です。これも早稲田での良き友を得たことが元気の源です。一日も早く皆が待ってくれているグリーンに立ちたいものです。

今思うこと

木原 禎子 (昭36理工)



終戦の年、私は小学1年生でした。沼津の叔母宅に疎開中の7月17日、沼津の9割が破壊された大空襲を体験し、更に戦中戦後の大変な時期を経験し、すべての人に死は訪

れること、本当の幸せについて考えさせられ、生きている時でなく、死ぬ際に満足な気持ちで死にたいと願うようになりしました。

戦後、法的には男女同権になっても、まだ女性の地位は低く、偏見や差別に満ち、女性として一人の男性に全てを委ねて生きることが、私には無理でした。高校時代にキューリー夫人伝を読み、この様な夫婦の生き方に感動し、それを目指したいと思いました。しかし、女が大学に行くことと生気がなくなるだけ、お嫁の貰い手が無くなる等と大反対され、結婚費用は自分で稼ぐから学費に回して欲しいと頼み、やっと認められました。

応用物理科では4年を通して女性は一人でした。卒業後、理化学研究所の半導体研究室に入所し、やっとスタートラインに着き、男性と同等に扱っていただけでした。しかし、女が25歳を過ぎると売れ残りと言われた時代、弟妹の見合いに差し支えると、24歳頃から顔を見ると結婚しろと責められました。

当時は見合い結婚が普通で、順番も重要でした。一生仕事を続けても良いということが条件で、ソニーの井深さんの

紹介で主人と、見合いをしました。

5年前、私達の結婚披露宴の来賓スピーチを、45年ぶりに聞く機会がありました。当時主人が試作中のテープレコーダで記録したものです。その中で井深さん、盛田さんは、『木原さんは、わが社の金の卵を産む雄鶏なので、奥さんよろしく頼みます』と合計9回も話しておられました。結婚後すぐ、主人は課長から部長に昇進し、約束を守ってもらえる状態ではなくなりました。常に5年先、10年先の新製品開発に取り組んでいる主人に家事、育児を分担させることは不可能なため、仕方なく理研を辞めました。

主人は、ソニーの発展に大きく寄与し、80歳まで自分のためだけでなく、純粋に会社の新製品開発のためだけに生き、それには陰で支える人が必要でした。私には荷が重い役割でしたが、どうにかお役目を果たせました。この4月、3冊目の翻訳本、『ディーパック・チョプラ氏の『スピリチュアル・ソリューション』』を出版することが出来、これからは感謝と満足な気持ちでこの世に行けるよう、今日が人生最後の日だと思つて生きて行けたらと願っています。

条件で、ソニーの井深さんの

世田谷稲門会 会員異動状況 平成25年6月10日現在

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	FAX
浜田 隆久	昭41	政経	個人情報につき不掲載			
上野 俊夫	昭40	商				
湯本 治男	昭33	政経				
西尾 友久	昭40	文				
宮田 知枝	昭42	教育				
櫛田 正良	昭37	政経				

〔新入準会員〕

正会員名	準会員名	郵便番号	住所	電話	FAX
若林 克彦	若林 さわ				

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	理由	備考
田口 正之	昭43	法		千歳会
故 鈴木 勝夫	昭37	商		千歳会
狛 文夫	昭46	政経		けやき会
高橋 勲	昭37	理工		千歳会
西嶋 多聞	平6	理工		西北会
矢野 正晃	平1	教育		さくら会
故 内田 孝	昭36	法		けやき会
廣野 三夫	昭47	理工		玉川会
檜谷 芳彦	昭40	商		けやき会
岩村 明彦	昭39	政経		けやき会
丸山 春望	昭38	商		
斎藤 廣治	昭17	法		キャロット会
瀧来 佐穂	昭38	文		キャロット会
戸井田幸雄	昭42	教育		キャロット会
故 武居 達治	昭39	法		けやき会

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	備考
前原 祖彦	昭25	理工				
佐伯 潤	平12	法				

〔名簿修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所		
			メールアドレス	電話	その他
長谷川義樹	昭40	文			
三ツ谷襄一	昭43	理工			
西川 正敏	昭44	商			
原 建司	昭40	商			
網野 久男	昭34	法			
菊池 吉晏	昭34	政経			
鈴木 晴夫	昭49	理工			
上野 俊夫	昭40	商			
国澤 俊一	昭43	理工			

編集後記

今号については第1面に納涼会の記事を全面掲載しました。また、第2面には第22回定時総会の記事、新任役員紹介を、第3面には決算及び予算、役員新体制、ブロック会広報世話人など盛りだくさんとなりました。「会員の広場」にも4名の方々に寄稿いただきましたので、従来の10ページでは入らなくなりました。従って、今回のみ12ページでお届けすることになりました。また、皆さんから送っていただく原稿の多くはメールでいただき、デジタル化がかなり進んでおりますが、まだ手書きの原稿やFAXでの送付がわずかですがあります。できるだけメールでお願いいたします。

写真は多く掲載したいのですが、圧縮したデータ量の少ない写真はボケたり色が出なかつたりします。デジタルで撮影の場合は圧縮しないでそのまま送付ください。紙焼き写真がある場合は別途送付いただければ、より綺麗な写真が掲載されます。

(榎並 俊一/記)